

上マージン
20mm

最終原稿にはページを入れない
でください。またセキュリティ
ー設定をしないでください

欧文タイトルは、文頭の最初の1文字
および固有名詞の初めの文字のみ大
文字として下さい。下の例では、J,S,E
は固有名詞として大文字です。

土木学会

構造工学論文集 Vol.60A(2014 年 3 月)

(1 行あける)

左マージン
20mm

10pt

構造工学論文集の完全版下投稿和文原稿の作成例 ← ゴシック 14pt

(1 行あける)

Instruction for A4 size camera ready copy for Journal of Structural Engineering

タイトルには、「特殊文字、機
種依存文字、ギリシャ文字、
“～”」などの文字は使用しな

(1 行あける)

土木太郎*, 構造花子**

Taro Doboku, Hanako Kozo

(1 行あける)

欧文姓名は、Given,Family Name の
順とし姓も名前も先頭の1文字の
み大文字として下さい。

*工博, 土木大学教授, 工学部土木工学科 (〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目)

taro@doboku-u.ac.jp

** 工博, 建設大学准教授, 工学部建設システム工学科 (〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目)

(1 行あける)

アブストラクト部の左右
マージンは本文よりも
25mm余分に

This file shows the instruction to prepare the manuscript of Journal of Structural Engineering. You must prepare your manuscript carefully according to this instruction. Please use only A4 size paper. The number of pages and the size of your manuscript must not exceed 14 pages and 3 MB, respectively. For A4 paper, top, left and right margins are 20mm, and bottom margin is 25mm. The line spacing must be single. Abstract should not exceed 10 lines (approximately 120 words) and should be followed by 3 or 4 key words. The left and right margins of abstract are 25mm.

Key Words: A4 size, use Italic, for key words

キーワード: A 4 判, キーワード記法

(2 行あける)

Times-italic
10pt

明朝 (斜体) 10pt

アブストラクト部の左右
マージンは本文よりも
25mm余分に

1. タイトル部分のレイアウト ← ゴシック 10 pt

(1 行あける)

タイトルページのフォーマットはこの作成例に従って作成して下さい。ページは A4 サイズとし、1 行目左側に「構造工学論文集 Vol.60A(2014 年 3 月)」, 右端に「土木学会」と 10 pt の文字を使用して記載して下さい。

和文のタイトル文字にはゴシック体 14 pt を使用します。以下、欧文タイトル、著者名、所属、論文の責任著者 (論文内容に対する問い合わせが可能な連絡先) の E-mail アドレスを上例に従って明朝体 10pt または Times 10 pt の文字を使用して作成して下さい。なお、次節に示すタイトルに関する注意事項を遵守してください。タイトル、著者名、所属、E-mail アドレスはいずれも中央揃えとしてください。アブストラクトは、所属の下 1 行あけて Times 10 pt の英文で、10 行もしくは 120 words 程度を超えない長さで記載してください。アブストラクト部の左右マージンは本文部分の左右マージン (20 mm) よりも 25 mm 程度余分にとってください。

キーワードは英字、日本語の両方を 3, 4 個記載し、それぞれ Times-italic 10 pt および明朝 (斜体) 10 pt の文字を使用してください。

明朝 10pt

(1 行あける)

1.1 タイトルに関する注意事項 ← ゴシック 10 pt

タイトルには、「特殊文字、機種依存文字、ギリシャ文

字、“～”」などの文字は使用しないで下さい。

また、欧文タイトルは、文頭の最初の 1 文字および固有名詞の初めの文字のみ大文字として下さい。例えば上の例では、J, S, E は固有名詞として大文字です。また、「全角文字」は使用しないでください。

(1) 著者名に関する注意事項 ← ゴシック 10 pt

欧文姓名は、姓も名前も先頭の 1 文字のみ大文字として下さい。(姓をすべて大文字にしないでください)

(1 行あける)

2. 本文のレイアウト

(1 行あける)

本文は、上に指示するマージンの内側に、総幅 52 文字を 25 文字+スペース 2 文字+25 文字の 2 段、50 行で作成するものとします。文字フォントに関しては、次節 3 に示す章、節、項の見出しはゴシック体 10 pt で記載し、本文に用いる文字サイズは、明朝体 10 pt、及び算用数字については Times 10 pt とします。

(1 行あける)

3. 見出し (見出しが 1 行以上に長くなる場合には、この例のように折り返してください)

(1 行あける)

見出しのレベルは章、節、項の 3 段階までとしてください。それぞれの番号には、4. 章の番号 4.1 節の番号 (1) 項の番号 のようにゴシック体を用いて指

下マージン
25mm

右マージン
20mm

定して下さい。章の見出しは、その上下に1行あけ、節の見出しは、その上にのみ1行あけることを原則とします。ただし、ページや段が切り替わる部分は、見出しが最上部に来るように調整して下さい。

(1行あける)

4. 数式および数学記号

(1行あける)

数式および数学記号は次の式 (1a)

$$G = \sum_{n=0}^{\infty} b_n(t) \quad (1a)$$

$$F = \int_{\Gamma} \sin z dz \quad (1b)$$

のように本文とは独立している場合でも、 C_d 、 $\alpha(z)$ のように文章の中に出てくる場合でも同じ数式用のフォントを用いて作成してください。本文中に出てくる数式および数学記号は、そのサイズを本文の文字と同等のものとしてください。

(1行あける)

5. 図、写真および表

(1行あける)

図表はそれらを最初に引用する文章と同じページにおき、直接本文中に描画することを原則とします。また、図表は、ページの右上または左上にまとめて、図が文章の間にはさまらないような配置としてください。図は、例えば図-3とし、図のタイトルとともに図の下に、表は、例えば表-2とし、表のタイトルとともに表の上に表示して下さい。図、写真および写真の番号、およびタイトルは、それぞれ明朝（またはTimes）10ptの黒色で記載して下さい。図・写真および表の本体はカラーでもかまいません。

(1行あける)

謝辞 ← **ゴシック 10 pt**

謝辞を記載する場合には結論の後に記載して下さい。タイトル「謝辞」はゴシック体10ptで記述し、謝辞の内容は明朝体（またはTimes）10ptで記載して下さい。

表-2 表の作成例

試験体番号	板厚(mm)	板幅 (mm)
1	12	100
2	15	200

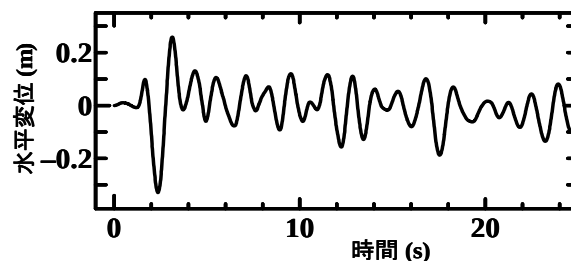


図-3 図の作成例

付録 ← **ゴシック 10pt**

(1行あける)

本文は、参考文献で終わるものとし、もし、付録を置く場合には、参考文献の前に置いて下さい。最終ページは、2段組の両側の高さをなるべく同じ高さとしてください。参考文献は¹⁾この例のように、上付き右括弧付き文字で指定します。参考文献の最後に論文の投稿受付締切日である2013年9月25日受付と両括弧をつけて、置いて下さい。

(1行あける)

参考文献 ← **ゴシック 10pt**

- 1) Dafalias, Y. F. and Popov, E. P. : A model of nonlinear hardening loading, Acta Mecha., Vol.21, pp.173-192, 1975.
- 2) Y.C. ファン（大橋義夫, 村上澄男, 神谷紀生共訳）：固体の力学／理論, 培風館, 1970.

(2013年9月25日受付)

↑
明朝 10pt

↑
10pt

論文の投稿受付締切日である
(2013年9月25日受付)と記入してください。

最終ページの左右の段落はできるだけそろえて終わる